

【Advanced I】

実技試験 <初見 1・2> 例題集

[初見1]

●16小節程度のコード&メロディー譜をヘッド・アレンジして演奏します。Advanced I では、4~8小節のイントロをつけたうえで、最低2コーラス（譜面を2回分）に発展させることが条件です。

2コーラスへの発展は、高度なアドリブまで要求するものではありませんが、メロディーやバックングに変化をつけることで1曲としての起伏、構成感を持たせることが期待されます。コーダの付加や、つなぎの部分等で新たなコードを挿入することも自由です。

Advanced I では、ノン・ダイアトニック・コードを使ったやや複雑なコード進行の課題曲も出されます。バックング・パターン等のアレンジを考える以前に、コード進行の把握、特にセカンダリー・ドミナントやトゥー・ファイブといった定型的なパターンを読み取ることがコツになります。メロディー・フェイクにおいても、そのようなコード進行に即した音使い（スケール感）が必要になってきます。曲の大きな流れを理解して、スムーズな演奏をするようにしましょう。

- ・以下の譜面をもとに、簡単なヘッド・アレンジをして演奏する。
- ・4~8小節以内のイントロを付けて演奏。
- ・フェイクなどを含め、2コーラス以上で演奏すること。
- ・代理コード、テンションの使用は任意。
- ・予見時間は初見 1・2 合わせて3分間。

問題例①

The musical score for problem example 1 is written in G minor (one flat) and common time. It consists of four staves of music. The chord annotations above the notes are as follows:

- Staff 1: $B^{\flat}maj7$, $Am7(\flat5)$, $D7$, $Gm7$, $C7$
- Staff 2: $Cm7$, $F7$, $Dm7$, $G7$, $Cm7$, $F7$
- Staff 3: $Fm7$, $B^{\flat}7$, $E^{\flat}maj7$, $E^{\flat}m7$
- Staff 4: $Dm7$, $G7$, $Cm7$, $F7$, B^{\flat}

[初見 2]

●初見 2は、2段譜の演奏です。楽譜通りミスなく弾くだけでなく、曲としてまとまっているか、コードやメロディーの流れを把握してスムーズに演奏できているかが重要なポイントになります。予見時には、音符だけを追うのではなく、コード進行を全体的に把握しておくことが、スムーズな演奏のために不可欠です。さらに、リズム感やダイナミクス等も含めた音楽的な抑揚も演奏時には表現してほしいところです。途中で止まったり弾き直すことがないように、自信を持って演奏しましょう。

問題例①

The musical score for '問題例①' is written in F major and 4/4 time. It consists of four systems of piano accompaniment. The first system contains the chords Fmaj7, D7, Gm7, and E7. The second system contains Am7, Dm7, G7, C7sus4(9), and C7(b9). The third system contains Fmaj7, Cm7, F7, Bbmaj7, and Eb7. The fourth system contains Fmaj7, D7(#9), Gm7, C7(b9), and Fmaj7. The melody in the right hand features several triplet patterns, while the left hand provides harmonic support with chords and bass lines.

問題例②

Am7(b5) D7 Gm Gmmaj7 Cm7 F7 Bbmaj7 Bb6

Cm7 Cm6 Gm7 Gm6 A7 D7(b9) D7

Cm7 F7 Dm7 Gm7 Cm7 F7 Dm7(b5) G7

Cm7 Gm7 A7 D7 Gsus4 Gm

問題例③

F maj7 Gm7 C7 F maj7

F maj7 Bbmaj7 G7 C7

F6 Gm7 C7sus4 C7(b9) F maj7

F Fmaj7 F7 Bbmaj7 Bdim7 C7sus4 C7 F6